

状況不明の資料

本籍地

加兵長

通所履部隊固有名

通所履部隊固有名

昭和十一年一月より開始せりがき正箇の戦事に参加重機南銃
機分隊長と戦事指揮中同年四月十五日に島がズンに接近して
敵迎撃砲弾の直撃を受け戦死せり尚遺骨は名古屋上陸地遺骨
安直所保管あり

威七三〇三

曹長

28-11

徵集年
予授

一、官紳（死破前）

二氏名

一、死歿場所
フイリピン中

一、死亡區分並三事由戰斗中

一、死歿年月日時
昭和二十

一、死歿者本籍地留守增營者

卷五

昭和二十二年四月三十日

元所屬部隊名式第一〇六〇部

現住所

元宜等級

氏名印

註 死亡事也。場所ハナルベククワンク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不問ニナツタ者ハソノ前後クワシクオ知ラセ下サイ

宛
先

地方世話部慰恤

死也認也

者製印

本表の中綴の欄以外は第一世諸侯にて記入するものとす。○
記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり(記載上の注意をよみ、讀んでから記入の所)
不備事項中判明しあるものは各所に於て朱筆することとす。

昭和三十一年 月 日 第 號

地方世帯部 死亡者 調査票

昭和三十一年 月 日 製

所屬部隊名 固有名

通稱名 威七〇二五

本籍地

昭 以 予 歩 上

前死 後死

死亡場所 以島北シ島 八六六面方十軒

死亡年月日時

昭 20 4 15 10 時

死亡原因

戦 死

傷病名

頭部貫通銃創

現住所

同本籍地

親 柄

妻 氏名

現住地 現地 地理

無

管理認可

威七〇二五部隊

陸軍少長

印 (FP)

印	檢	點
		認定
		進級
		告知
		記録

考製藥

10

此篇

10

卷八

1995

11

1998

卷二

1

100

戰時死亡者現認書

昭和四年 五月 十二



水籍地	所属部隊	役	留學祖籍者	死亡年月日	死亡場所	死亡状況	現認者
[Redacted]	陸軍省司令部機務部中隊	投機中隊主計役 昭和四年四月十五日 被擄年四月八日 死亡時階級 陸軍少佐	現在前 父	昭和四年四月十五日	比島呂宋島リヤル州セブンの東多音并五十五番地	投機中隊主計役 昭和四年四月十五日	現認者 右二名 陸軍省司令部機務部中隊 中隊長 佐藤長 佐藤長

不明、箇所、不明、不明、不明、不明、不明、不明

9-10

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 姓 名

戸主 本人

氏名

年 月 日生

二、所属 通称 部隊名

此の派遣

第

部隊

隊

三、戦死者徵集年

昭和 年

役種

補役

兵種

歩兵

死亡前官等 陸軍

四、戦死年月日時

時刻

及場所

昭和 年 月 日

時 分

場所

山 中

五、戦死現認ノ程度

戦死推定

六、遺骨歸還ノ有無

有

七、戦死當時ノ状況ノ概要

敵陣ヲ胸ノ右腕

銃創所ヲ受テ口ヨリ出血多ク

敵ヲ奮勇倒シ

戦死シ此ノテキモト思フ

八、死亡区分

事由

疾病

年月日

昭和 年 月 日

年 月 日

日

九、其ノ他

(上掲ニ於テ死亡原因等一級リ申立テ、前掲職務等班)

中 立 隊

上 陸

年月日及上陸地

昭和 年 月 日

上 陸 地

一〇、遺族ノ現住所

戦死者トノ続柄

妻

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ証明候也

昭和 年 月 日

証明者住所

戦死者トノ関係

所属 部隊名

兵種

官等 陸軍

歩兵

氏名

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

69-10

死亡現認證明書

本籍地

所屬部隊(固有名稱) 第六航空通信隊 (通稱號) 威才九九四三部隊

徵集年 十一年

役種

現役

兵和

航空

官等級 死亡前 死亡後

一等兵

氏名

生年月日

年

月

日生

親柄

氏名

留守擔當者

死亡		年月日時及區分	場所	傷(病)名	年月日時
死	亡				
		昭和十一年四月一日	比島 永田口三島 中ノ口	不収	時 分 戰死

6-12

右の通り現認したことを證明す

昭和二十二年 五月 五日

本籍地
所屬部隊
[Redacted]

官等級
陸軍中尉氏名
[Redacted]

傷(病)名	戦死(病死)の状況	受傷(罹病)の状況	内地港灣出發 戦地に到着 年月日	勤務の概要
戦之味方トシテ 戦後未歸還			昭和十九年九月五日 内地港灣出發 戦地に到着 年月日	

6-10

現認證明書

本籍地

所屬部隊(有姓名) 昭和五年四月十六日

(通稱) 成三三三部隊

徵集年

官年級氏名 陸軍兵長

(進級年月日)

年 月 日

死之年月日 昭和五年四月十六日

死之場所 山ノ島

死之原因(傷病名) 戰病死

死之状況 亦剛

存証人 現認 證明書

昭和五年三月十三日

現認者所屬部隊(通稱) 成三三三部隊

現住所

旧職官等氏名(姓)

陸軍兵長

北島派道輝一六三。部隊長第九部隊

陸軍歩兵一等兵

[Redacted]

年 月 日生

159-14

右者昭和十九年十一月十五日マニラ地区北島派道輝第一。六一二
部隊南方第十二陸軍病院入院シ同年十二月当病院ト共
ニバギオ地区ニ移轉シ昭和廿年四月十六日当病院山手分院
ニ於テ腎臓脚氣ニテ死シス

右 雑 認 ス

昭和廿二年三月廿六日

モト北島派道南方第十二陸軍病院看護婦

[Redacted]

[Redacted]

死亡現認證明書

昭和 年 月 日 調製

死		役		者		現認事由		記載上注意	
所属部隊	固有名称 独歩五六二大 通稱 菅一七六八	本籍地	死亡前ノ階級	氏名	遺骨遺留品	死亡場所	死亡年月日	死亡区分	受傷箇所
			上等兵					戦死	空爆クニク
死亡場所	比摩資木口島 ソニナシカス山	死亡年月日	昭和二十年四月十六日	死亡区分	戦死	受傷箇所	空爆クニク	氏名	下ノ必ス捺印スル
死亡年月日	昭和二十年四月十六日	死亡区分	戦死	受傷箇所	空爆クニク	氏名	下ノ必ス捺印スル	階級	上等兵
死亡区分	戦死	受傷箇所	空爆クニク	氏名	下ノ必ス捺印スル	階級	上等兵	本籍地	
受傷箇所	空爆クニク	氏名	下ノ必ス捺印スル	階級	上等兵	本籍地		現住所	
氏名	下ノ必ス捺印スル	階級	上等兵	本籍地		現住所		元所属部隊	菅一七六八

右ノとおり戦死ニテ死亡スル事現認ス

一現認事由は当時ノ状況ヲ詳細ニ記入スル
一本證明書ハ三部作製スル
一階級ハ必ず死亡前ノ階級ヲ記載スル
一死亡区分ハ戦死ノ時は受傷箇所ニテ戦病死
ノ時は病名発病年月日ヲ記載スル
一死亡場所死亡年月日死亡区分ノ確正
ナル時は甲欄ニ確定ナルときは乙欄ハ
ミソハ丙トモ下ニ記載スル

110 10

7/14

五

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 横柄

戸主

氏名

145-10

昭和25年

二、所属部隊名

比叻

派遣

第二三三部隊

久

隊

三、戦死者徴集年

昭和25年

役種

現役

兵種

砲兵

死亡前官等

陸軍

年月日

昭和

年

月

日

四、戦死年月日時

昭和25年

四月

十六日

サマニル

戦場中

五、戦死現認ノ程度

確実ト不確定

六、遺骨歸還ノ有無

ナシ

七、戦死當時ノ状況

概要

サマニル戦場中

銃声ノ戦死推定スル

八、死亡區分

戦死

事由

銃声ノ戦死

發病年月日

昭和

年

月

日

九、其ノ他

(特種死ニシテ整理スルガタ、整理確定タ、又ハ不明等取入)

申立書ナレバ上陸年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所

戦死者トノ親類

父

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和25年

参月

一日

證明者住所

戦死者トノ關係

前

分隊長

所屬部隊名

兵種

砲兵

官等

陸軍

兵長

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

市町村長證明箇所

事實
死亡證明書

本籍地

所屬部隊

第五飛行隊第四十五中隊
(通稱號) 成第 二八九七一部隊

昭和十八年徵集兵長

右之者昭和二十年四月十八日
ノ戦闘ニ於テ戦死シタルコトヲ證明ス

昭和二十年二月二日

調製官 第五飛行隊第四十五中隊長

陸軍中將

3-12

現 實 証 明 書

死亡者遺族に就いて

所屬部隊名	通稱號	三三二八	固有名
本籍地	遺族の住所		続柄氏名
年集徴	種 役		氏 名
死亡年月日時刻	昭和二十一年四月十八日午後四時五分	死亡場所	平地
前亡死	年月日	後亡死	年月日

死亡区分
下記の處
であでは
する箇所
に○印を
附すること

戦死	戦傷死	戦病死	その他
死亡の原因 又は病名	發病年月日 及現認事由	死体の處置 その他	参考事項

バナホ山よりマヒン山に行軍中敵の砲弾により四月十八日午後四時頃戦死。遺族は五等卒。敵の攻撃甚しく遺留品何一りありません。

死亡者と
の關係

同僚

遺留品の有無及び理由

政務を司る者として

右現認證明致します

昭和二十一年十月十九日	現 住 所	現 認 者	官等氏名	陸軍軍醫
-------------	-------	-------	------	------

9-11

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 氏名

戸主

氏名

年 月 日生

二、所屬部隊名

派遣

隊

第 部 隊

隊

三、戦死者徵集年

年

役種

兵種

死に前官等

陸軍

年 月 日

昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所

昭和 年 月 日

時刻

場所

戦死現認ノ程度

遺骨歸還ノ有無

戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要

八、死亡区分

戦死

事由

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

九、其ノ他

戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要

戦死當時ノ状況ノ概要

二、遺族ノ現住所

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

證明者住所

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ關係

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

所屬部隊名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

市町村長證明箇所

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

戦死者ノ氏名

印

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名横柄

戸主

氏名

并

年 月 日生

二、所属部隊名

自

派遣物

第二〇三部隊

隊

三、戦死者徴集年

昭和

年

役種

歩兵

死亡前官等

陸軍

昭和

年

月

日

四、戦死年月日時刻及場所

昭和

年

月

日

時刻

場所

山内

山内

山内

山内

山内

山内

五、戦死現認ノ程度

現認

モ

モ

モ

モ

モ

モ

モ

モ

モ

モ

モ

六、遺骨歸還ノ有無

有

無

七、戦死當時ノ状況

昭和

年

月

日

未

未

未

未

未

未

未

未

八、死亡区分

戦死

事由

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

九、其ノ他

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

（

）

一〇、遺族ノ現住所

戦死者ノ

親柄

等

氏名

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和

年

月

日

証明者住所

戦死者ノ関係

所属部隊名

第一

第二

第三

第四

隊

隊

兵種

歩兵

死亡前官等

陸軍

兵

長

氏名

市町村証明箇所

右ノ通り

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

印

現認證明書

本籍地	現住所	所屬部隊	官氏名	陸軍	死亡場所	死亡區分	死亡日時	死亡傷(病)名	留守擔當者住所	續柄氏名
[Redacted]	右同ジ	第四航空軍獨立第七機関砲隊	陸軍一等兵(死亡前)	[Redacted]	ホソ	爆死	昭和三年四月十九日 十三時三十分	頭部貫通	本籍地同ジ	妻 [Redacted]
					(マニラ市東北 二十四丁目)					

右證明

する

昭和二十二年

月 日

現認者住所

元所屬官氏名

第四航空軍獨立第七機関砲隊付

陸軍曹長

現認(事實)証明書

水場地

所屬部隊

因有名 海上基地推進隊第二中隊第二隊
通稱名 威王三王〇部

昭和八年徵集手帳被 陸軍部長(昭和四年九月)

年 月 日生

- 1. 死亡年月日時分 昭和八年四月十九日
- 2. 死亡原因及傷病名 戦病死(ヤミハ痛)
- 3. 死亡場所 北島新部 吉原
- 4. 死亡状況

1. 死亡者と親類者との関係 同中隊隊友

2. 死亡者前夜の状況

比島マサ山(千七百高地)より北に前進中病死

右の通り相違ない事を証明する

昭和廿二年二月二十日

元少佐 藤原 龍太郎
現住 藤原 龍太郎 陸軍少佐 大隊長 中隊
通稱 藤原 龍太郎 陸軍少佐 大隊長 中隊
現住 藤原 龍太郎 陸軍少佐 大隊長 中隊

旧戦官 某氏 名 陸軍伍長

一、死亡者の本籍地

二、留所捜査者の住所 続柄氏名

本籍地は同じ 兄

右相違ない事を証明する

昭和廿二年三月廿日



伍長

A black and white photograph of a book cover. The cover features a decorative border with a repeating geometric pattern. In the center, there is a large, dark, rectangular area, possibly a title label or a placeholder for text. To the left of this central area, there is a small, rectangular inset containing some text or a logo, which is partially obscured by the dark area. The overall design is simple and functional, typical of a book cover.

卷一百一十五 雜著

名

熙和九年五月于

[illegible]

外地刊署者
主事或處丞

五世分	秋元
五世分	比島ハニ島バタニ洲ヲガト

歷財必歸芳

元二無功
實府為
認定

欽定四庫全書

名

老の痛り現認する

所應節錄時設革
械鑒砲隊

明倫彙編
 家範典
 卷一百一十五
 陸家之榮

名錄



水蘚池

一、藥後過年日服十分之牛功為效應后

同石

事
外
部
經
濟
學

昭和二十一年四月十九日

死

[illegible][illegible]

卷之四

右の通り現認す

三ノ上ノ目

所歷前晚特設茶十二一機關

翠佳所

陸軍少將

544

西位款